

令和4年

3月23日(水) ▶ 5月8日(日)

作家からの 手紙Ⅱ

川内まごころ文学館 第16回特別企画展



作家たちが山本実彦に宛てた手紙。
そこから垣間見られる創作の舞台裏とは…

場 所 川内まごころ文学館 企画展示室
開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休 館 日 月曜日 ※祝日の場合はその翌日
観 覧 料 大人 300 円、小学生～高校生 150 円
※小学生～高校生は土日祝日観覧無料

後援 / 南日本新聞社 MBC 南日本放送 KKB 鹿児島放送 KTS 鹿児島テレビ
KYT 鹿児島読売テレビ NHK 鹿児島放送局 FM さつまさんだい



薩摩川内市川内まごころ文学館

〒895-0072 鹿児島県薩摩川内市中郷二丁目 2-6

TEL: 0996-25-5580 FAX: 0996-20-0818

<https://magokoro-bungaku.jp>





川内まごころ文学館 第16回特別企画展

作家からの手紙II

令和4年3月23日(水)～5月8日(日)

川内まごころ文学館が収蔵している改造社関係書簡資料から文士たちの創作の舞台裏や、山本實彦との係わりを紹介します。

やまもと さねひと
山本 実彦

薩摩川内市東小路町生まれ。改造社を設立し、総合雑誌「改造」を創刊。大正から昭和にかけての不況下に一冊一円の「現代日本文学全集」を刊行し、「円本」ブームの先駆けとなる。政治家として、川内川の改修工事にも尽力した。



展示で紹介する主な作家

林 芙美子 はやし ふみこ

小説家。山口生まれ。父が行商をしていたため転校を繰り返す。広島県尾道市の女学校を卒業した後、工員・事務員・酒場の給仕など職業を転々としながら詩や童話を書く。幼少期の体験や当時の生活を題材にした『放浪記』でベストセラー作家となった。



永井 荷風 ながい かふう

小説家。東京生まれ。文学を志して広津柳浪に師事。ゾラ、モーパッサンに傾倒する。5年間の西欧留学を経て、『あめりか物語』『ふらんす物語』を発表。「耽美派」の中心となって活躍したあと、江戸情緒あふれる風俗小説に転じた。代表作に『すみだ川』『つゆのあとさき』『湊東綺譚』がある。



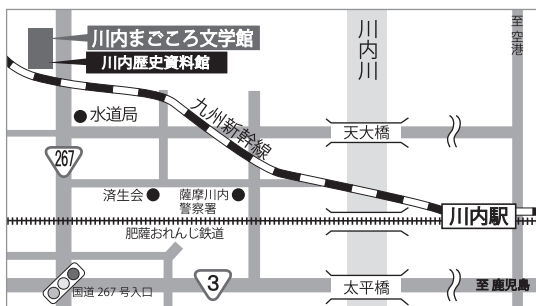
吉田 絃二郎 よしだ げんじろう

小説家、戯曲家、随筆家。佐賀生まれ。早稲田大学英文学科卒業後、「六合雑誌」の編集に従事しながら同誌に随筆などを発表した。「早稲田文学」発表の『島の秋』が出世作となり作家としての位置を確立。早大講師をつとめながら文筆活動を続け、戦前のベストセラー作家として活躍した。



谷崎 潤一郎 たにざき じゅんいちろう

小説家。東京生まれ。第2次『新思潮』創刊の同人となり、『刺青』などで永井荷風にみとめられ、官能的な唯美主義の作家として登場した。関東大震災後は関西に移住し、日本の古典文学に回帰した作品を執筆。『源氏物語』の現代語訳や、『細雪』、『痴人の愛』などの作品で知られる。



- 開館時間 9:00～17:00
※入館は16:30まで
- 休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)
- 観覧料 ()は20名以上の団体

	文学館	資料館共通
大人	300 (240) 円	400 (320) 円
小学生～高校生	150 (120) 円	200 (160) 円

※小学生～高校生は土日祝日観覧無料

薩摩川内市川内まごころ文学館

〒895-0072
鹿児島県薩摩川内市中郷二丁目2-6
TEL:0996-25-5580 FAX:0996-20-0818
<https://magokoro-bungaku.jp>